

# 令和5年度 沖縄の社会 シラバス

科目	単位	学年	学期	必修・選択	対象コース	担当教諭
沖縄の社会	2	3	全	選択	文理コース	岸本和美

## 1 授業概要・到達目標

- (1) 日々変化する沖縄県を取り巻く状況を学び、考える力をつける。
- (2) 沖縄県の地理的事象を学び、本県のことを詳しく学ぶ。
- (3) 本県の課題・問題点を学び、それを小論文等で表現する力をつける。

## 2 評価方法

### (1) 定期考査

定期考査を実施する。考査は授業内容・課題内容を主とする。

定期考査実施計画（1 学期期末考査・2 学期期末考査・3 学期期末考査）

### (2) 提出物

各テーマに対し、課題や小論文をさせ評価対象とする。

### (3) 授業

授業中の意欲・態度、出席状況、発問への主体的姿勢および発表、校外見学などでの学習態度等を勘案し、総合的に判断する。

### (4) 評価の割合

提出物・小論文・授業態度・発言等とし、総合的に評価する。

## 3 使用教科書・教材

### (1) 教科担当作成資料

### (2) 授業の展開

1 学期前半は、沖縄県の概要を学び理解する。1 学期後半から 2 学期にかけては、沖縄県の社会的な課題を学び小論文に生かす。また、現地見学等を行い、知識・理解の定着を図る。3 学期は、沖縄県の今後について考察し、発表させる。

## 4 授業の展開と形態

各学年、文理コースのみ 1 クラスで実施する。

## 5 学習方法および履修上の注意

- (1) 本年度開始の授業において、「沖縄の社会」についてのガイダンスを行う。
- (2) 授業は進捗表・年間計画に沿って行い、学習内容の徹底を図る。
- (3) 視聴覚教材、パワーポイントを用い学習理解度を高める。